

令和2年太宰府市議会第2回（6月）定例会

一般質問者【個人質問】及び質問項目

	質問者 (議席番号)	質問項目
2	橋本 健 (16)	<p>◆財政問題について 本市の財政について心配する市民は多く、一番の関心事ではないだろうか。事業予算は、常に費用対効果を念頭に編成されているが、課題として、より安定した自主財源の確保と歳出の見直しは必要不可欠である。そこで、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 市長自ら考案され収入源となった過去2年（平成30年、令和元年）の自主財源の具体的な内容について</p> <p>(2) 歳出において、公共施設等に関する委託業者への支払いの見直しとチェック体制について。</p> <p>(3) 委託管理について、民間で培った経験豊富な人材活用の検討は行なわないのか。</p> <p>◆まほろば号運行について まほろば号運行について2点伺う。</p> <p>(1) 適正な運行を目指すダイヤ改正の進捗状況について。</p> <p>(2) 新ダイヤによる運行は、いつから始まるのか。</p>

【質問本文】

一件目は「財政問題について」の質問です。

全世界に猛威を振るっている新型コロナウイルスですが、これまで経験したことの無い状況に一日も早く、終息を願うばかりであります。5月26日現在、新型コロナ感染者は、世界全体で感染者551万2,055人、死者34万6,612人となりました。その感染拡大の影響で諸外国ではロックダウン（都市封鎖）や我が国では緊急事態宣言により世界経済及び日本経済は生産や消費が止まってしまい、かつてない大打撃を受けつつあります。

したがって、このコロナ禍によって国政・県政はもとより、本市の市政は厳しい運営を強いられることになり財源不足が予測されます。深刻な事態を迎え執行部におかれましては、たいへん悩ましく、頭の痛いことだと拝察いたします。このような状況下におきまして、財政問題に触れますことは差し控えたいところではありますが、日頃より本市の財政について心配する市民は多く、一番の関心事でありますので取り上げさせていただきます。

今年度予算は、3月議会において議決し成立いたしました。各事業予算は、常に費用対効果を念頭に編成されていると思いますが、課題として、より安定した自主財源の確保と歳出の見直しは必要不可欠であります。そこで、次の3点についてお伺いします。

- (1) 市長自ら考案され収入源となった過去2年（平成30年、令和元年）の自主財源の具体的な内容について。
- (2) 歳出において、公共施設等に関する委託業者への支払いの見直しとチェック体制について。

市は、委託業者において市が定めた仕様書基準に従って業務履行されていることを適正にチェックしているか伺います。また、一部でも不履行であった場合は減額して支払うなどムダな支出を防止しているか併せて伺います。

(3) 委託管理については、民間で培った経験豊富な人材活用は行わないのか。

業者から提出される報告書を詳細に分析できるような人材が職員に必要であると考えているが、市の見解を伺います。

二件目は、「まほろば号運行について」の質問です。

本市が平成 10 年に、全国に先駆けて導入したコミュニティバス「まほろば号」は、目下、市民の足として年間延べ 57 万人（平成 29 年）の皆様にご利用されています。

22 年の歴史を刻んでまいりましたが、この間、これまで幾度となくダイヤ改正や路線見直しが行われてきました。

昨年より新たに、まほろば号のダイヤ改正について担当課より報告を受けておりましたが、その後の進捗について報告がなく市民の方々に正確な情報をお伝えできず困惑しておりますので質問させていただきます。

(1) 適正な運行を目指すダイヤ改正の進捗状況について。

(2) 新ダイヤによる運行は、いつから始まるのでしょうか

ご回答宜しく願いいたします。